任期4年を振り返り、市民の皆様に感謝！

南あわじ市長　中田勝久

市民の皆様、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。日頃は、市政運営に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成17年1月に南あわじ市が誕生し4年が経過いたしました。市民の皆様、議員各位のご労苦やご支援のお陰をもちまして、まちの基礎づくりが整いつつあります。衷心より感謝とお礼を申し上げます。

私は、南あわじ市初代市長という重責を全うすべく「人を大切にした行政運営」「夢・知恵・元気を出せるふるさとづくり」に心がけてまいりました。

市内全域にケーブルテレビネットワーク網を配備し、多数のサイレンやスピーカーによる災害告知システムの整備、デジタル化への対応、県下でも一、二番と言われている小中学校の耐震化100％、保育料の第2子無料化や企業誘致による雇用の確保などにも努めてまいりました。

一方、厳しい財政状況の中、皆様方のご理解ご協力を得ながら、四役・職員給与カットや人員削減、行政評価制度や民間活力の導入など、痛みの伴う行財政改革へ真っ向から取り組みました。

しかし、まだまだ解決しなければならない課題が山積みであります。特に、防災対策では、三原川水系河川整備計画の実現による低地対策や、津波防災ステーション建設などの津波対策を早急に完成させる必要があります。

一方、高速道路の料金低減化と併せて、観光庁からご指定いただいた地域観光圏を活かし、沢山の「ふるさと資源」を有する南あわじ市を大々的に売り出さなければなりません。農商工連携に象徴されますように、「安心・安全」を商品化し、丁寧でまじめな仕事をした特産品等をプロデュースしながら、生活者の目線に立った消費振興が必要です。

更に、行財政改革は勿論、大きな潜在能力を秘めたすばらしい「宝船・ふるさと南あわじ市丸」の可能性を市民の力を結集しながら一丸となって未来に向かうことが必要です。

皆様のご活躍、ご健康、ご多幸をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

市民の皆様の参画と協働によって

南あわじ市議会議長　森田宏昭

新年あけましておめでとうございます。新しい年をご壮健で希望をもって迎えられますこと心よりお慶び申し上げます。南あわじ市議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

昨年11月末に行われました役員改選により、議会の構成が変わりました。気持ちを引き締め、市民の皆様の負託に応えるため、日々努力してまいります。

さて、昨夏のサブプライム危機に端を発して、国際金融不安による世界同時不況の影響が心配されているなか、三位一体改革をはじめとする国の行財政改革により全国の自治体が対応に苦慮していますが、特に地方では景気が悪化し、都市部との格差も拡大しております。南あわじ市においても、地場産業など地域経済の低迷に加え一段と厳しい状況であり、市の財政も同様であります。こうした状況化では、国・自治体が一体となって緊急的な対策を講じなければなりません。

そして、中長期的には、今日のように市民ニーズの多様化、少子高齢化社会の到来など社会情勢の変化において、市民サービスの範囲が拡大する一方、市の財政は非常に厳しく、行財政改革のなかで職員の削減をはじめ、歳出のカットを余儀なくされています。

このような状況において、市民の皆様に市政に参画していただく。自分たちの地域を住みやすくするため、知恵や力を出し合って地域づくりに取り組んでいただく。参画と協働を積極的に推進していくことが今強く求められています。厳しいときこそ、市民の皆様の「参画と協働」がまちの力となり活性化につながるものと考えます。

変革のなかにあって、議会に課せられた役割、使命は大きいものがあります。今期議会も本年11月10日で任期満了を迎える節目の年、議会としましても市民生活を重視したまちづくりが展開できるよう精一杯取り組んでまいります。

どうか、今年もより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご健康とご多幸を祈念して新年のごあいさつとさせていただきます。

南あわじ市の出来事

2008年を振り返って

1月

▲「南あわじ市財政健全化計画」を発表

・大鳴門橋記念館の愛称、「うずの丘」に決定
・観光ボランティアガイド養成講座開講
・「南あわじ交通事故なくし隊」結成
・「子育て支援ハンドブック」作成

2月

▲中山峠に子育て支援啓発看板を設置

・南あわじカギかけ草の根運動推進協議会が発足

3月

▲ケーブルテレビ整備事業の工事完了

・市の企業立地基本計画に国４省庁が同意
・阿万バイパス全線開通
・オニオンタワー完成

4月

▲沼島ヘリポートが竣工

・収税課、企業誘致課、下水道加入促進課を新設
・市の温水浴施設に指定管理者制度を導入
・丸山と阿那賀漁協が合併、南あわじ漁協誕生
・後期高齢者医療制度が始まる

5月

▲業種・分野別行政懇談会を実施

・「ささら踊り」を市指定無形民俗文化財に指定
・「文化・スポーツ合宿誘致支援事業」開始
・学校給食センター「県版 HACCP」認定
・公民館講座「よくばりチョイス」開講

6月

▲ますだおかだの増田さんが福良なないろ館を訪れ「淡路島」の歌をＰＲ

・市内の小学校で「下水道教室」開催

7月

▲三原中学生と南淡中学生がオーストラリアで人形浄瑠璃の海外公演

・「南あわじ市どぶろく特区」が国の特区に認定
・企業団地に三洋エナジー㈱新工場建設開始
・榎列上幡多にリサイクルセンター建設開始

8月

▲「縁結び相談」をスタート

・新商品開発に向け「農商工連携推進会議」開催
・第３子のいる家庭に「ゆめるんカード」発行
・南あわじ市にコウノトリ飛来

9月

▲阿万海岸海水浴場でウミホタル観測

・議員定数を４人減の 24 人とする条例改定案が可決
・選挙の「投票所・投票区域」再編

10月

▲「淡路島牛丼プロジェクト」スタート

・ふるさと南あわじ応援寄附金の受付開始
・国が淡路島を「観光圏」に認定
・休日窓口の証明書受取サービス開始

11月

▲商工会青年部が「くらしの便利帳」を発行

・連合自治会の支部制度廃止を決定
・結婚促進事業「ハッピーマジック」会員から結婚第一号

12月

▲緊急経済対策「市民の暮らし応援振興券」発売

・市民参画のまちづくり委員会が発足